

下田南地区振興会だより

会報 小田床

■発行第62号■
【発行責任者】
下田南地区振興会
会長 中村敬司
【連絡先】
下田南地区コミュニティセンター
42-3612

「天草ござとこ学園
中学校」が誕生します

下田南地区振興会
会長 中村 敬司

明けましておめでとうございませす。小田床の皆様、離郷者の皆様、本年もよろしくお願い致します。

元旦に発生した能登半島地震で被災された皆さま、ならびにご家族の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。道路が寸断された中での避難生活は厳しい寒さもあり困難な生活だと思えます。一日も早い復興を願っています。

「熊本学習支援センター天草下田南校」が昨年八月二十六日に開校して五カ月が経過しました。

旧下田南小学校舎が活用され、学校を訪問される方から木造校舎や小田床地域が素晴らしいと、お褒めの言葉を頂き、大変嬉しく思っています。

また、センターの仙波達哉代表は、子どもたちが自然の中で主体的な学びができることを支援していけるよ

う、「不登校特例校」あらため「学びの多様化学校」を目指して、私立中学校の学校化を申請されました。来年四月の開校予定です。

県内で初めての、学びの多様化学校ですが運営法人名が「小田床学園」、校名が「天草ござとこ学園中学校」で県内外から九十名の生徒を受け入れる予定です。

小田床を校名にいい頂き、仙波代表の下田南地区への思い入れに深く感謝申し上げます。

コロナもインフルエンザも流行っています。皆さんが健やかに過ごされ、今年が素晴らしい年である事を願っています。



菅原神社例大祭
(熊本学習支援センターホームページより)

四年ぶり
小田床菅原神社
秋季例大祭の開催に感謝

「コロナの影響で四年ぶりに開催できませんでした。そこで改めて「祭り」について少し調べてみました。「祭とは、感謝や祈り慰霊のために神仏及び祖先をまつる行為(儀式)である。供物そのほか捧げられる。略」とありました。ここでは祈りや慰霊ではなく(感謝)がしつくりします。

今回の祭りで一番大変と思われたことは「人集め」です。大太鼓小太鼓を打つ人・鈴を振る人。六尺の神輿を担ぐ人獅子を舞う人笛を吹く人行列の人旗や供物を運ぶ人等々。特に子供たちの数が急激に減り、思い当たる子供がいなくなつたことです。大太鼓打ち経験者は高校生になり、他の地域で暮らしています。さらに確かなことはすべての人が四年前から確実に四歳は年を重ねていることです。本当に困り果てました。

しかし救世主が現れました。神様はおられたのです。前述の高校生お二人(福岡市と五和町)と今年度開校した学習支援センター下田南校の職員の皆様です。また、驚きは、人吉から参加して笛を吹かれたのは、昔の仲間の先輩でした。これらの人たちの支えがなかったら今度の祭りは本当にどうなっていたのか?寂しい祭りになっていたのだらうことは容易に想像できます。

祭当日の神事を拝殿にて行います。そこに古い畳を敷いていました。今回、学習支援センターから改修のために出た畳を頂いて敷くことになりました。

感謝です。しかしオーダーメイドではないので隙間なく敷くことはできません。そこで、高浜の大脇畳店に依頼してきれいに隙間なく敷けるようになりました。大脇さんは「私も神社の総代を何十年としています。これは私の気持ちです。」と手間は取られませんでした。これもまた感謝です。

祭りとは、人々がそれぞれの役割を自分の持てる力を出し合って、支えながら作り上げるものです。それが本身に染みて実感できた今回の小田床菅原神社秋の例大祭でした。

神様に感謝するとともに力を結集してくださつた全ての皆様、応援してください。心より感謝申し上げます。「神様、次もよろしくお願ひしますと、元旦に手をあわせました。」

総代 伊野 修一



9月3日、3年ぶりに敬老会開催 祝 下田南地区敬老会



70歳以上の出席者46名。そして一。来賓の楠本県議、松岡市議、熊本学習支援センター下田南校関係者の方々、振興会の役員の諸代の参列のもと、終始暖かな雰囲気にも包まれました。



下田南校通信

新年明けましておめでとうございます。お陰様で、当校も令和六年を迎えることができました。熊本日日新聞の元日号におきまして、改めて当校を紹介させていただいたところですが、能登の震災などもありまして、波乱の幕開けとなりました。被災された方々に御見舞い申し上げますとともに、本校といたしましても、防災教育に力を入れてまいりたいと考えております。

昨年引き続き、地域の皆様にはお世話になることと思いますが、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

熊本学習支援センター
天草下田南校校長 皆川剛



球技大会

去る12月3日、球技大会が開催されました。当日は曇り空で寒い1日となりましたが、約60名が珍プレー好プレーに盛り上がりました。

今年は僅差で中央区が優勝、佃浜区の連覇を阻止する結果となりました。そして個人の部では男女別優勝を夫婦でゲット、周囲の羨望を集めていました。

閉会後は各區で親睦会も開催され、ようやくコロナ前に戻ったようです。今後も皆さまのご参加をどうぞよろしくお願いいたします。

石松由紀子



白石 徳美・宣子様ご夫妻

石川県能登半島地震

義援金のお願い

下田南コミセンに義援金箱を用意してありますので、皆様の応援をよろしくお願いいたします。



★小田床ナイトタウン★

地域づくり部会を中心に土台作りを行い、イルミの配置は部会長の若松米雄さんが構成して、小田床港の夕陽となり素敵なイルミネーションが完成いたしました。（昨年12月9日完成で1月6日迄点灯 下田南地区コミュニティセンター横広場）



鬼火焼き

前日から竹を切り倒してやぐらを組み全てを切り盛りするのは地域づくり部会の仕事。それだけには任せられないと数名の加勢も加わって立派なやぐらができました。当日は多少の風もありましたが、まずまずの出そろい。帰省客、その子供たち合わせると約60名。消防団も待機で準備万端。年男の金ちゃんによる点火で始まり火の勢いとともに賑やかさも増し、お神酒やぜんざいもあって皆大喜び。天草町では1番だと自負したくなるような鬼火焼きになりました。

「鬼火焼き」、「おねび焼き」、「どんど焼き」各地

方で呼び名はまちまちですが、縁起物を燃やすのは、五穀豊穰、商売繁盛、家内安全、無病息災等々を祈願するものだそうです。

贅沢な願いですが、どれも欠かせないもの、もっと追加するなら自然災害はあってほしくないものです。

萩本 哲子



「天草スマートカレッジ下田南校」下田南コミセンで開催中

現在スマートカレッジ下田南校は令和五年度第四期開催中。受講生は11名、下田北・下田南・高浜・大江地区の在住者。週1回木曜日。令和6年1月18日から2月22日まで天草スマートカレッジのビジョンは高齢者の衰え始めた脳年齢を40代・50代の若々しい脳年齢を保って人生総幸福量を最大化する生涯学習の場と、みんなが助け合いながら安心安全に暮らす幸せな地域づくりをめざしています。4年前からスマホ教室は始まっています

が、不思議なことに長く受講している人たちから認知症患者は発生していないそうです。公民館講座・スマホ教室やいろんな役をもって活動している人は脳を頻りに使うので認知症にはなりにくいとのこと。新期は令和6年4月から始まり、新しい教本にかわり応用編の内容が高度になるそうです。一度スマホ教室を卒業された方も、もう一度学んでみませんか。お待ちしております。

スマートカレッジ下田南校 校長 萩本 房雄

下田南のデータ

86 世帯
人口 160 人
(男性 74 人・女性 86 人)
高齢化率 (65 歳以上)
94 人 58 %
高齢者内訳 女性 51 名 男性 43 名
(令和 5 年 12 月 31 日現在)

野口 眞澄

明けましておめでとうございませう。コナホの警戒が緩和された昨年、地域の諸行事も活発化したように思われます。私事で恐縮ですが、昨年は夫婦して病を患い試験の年となりました。落ち込んだ時期もありましたが、禍福はあざなえる縄の如し。自分の身の上で起きた事はよい事も悪い事も引き受ける覚悟を決め何とか乗り越えることができました。

年明け早々、正月気分もふつと飛び出た来事相次いで起きました。能登半島大地震。羽田空港滑走路で航空機同士の衝突事故。北九州市飲食街の大規模火災。他にも全国各地で火災が発生しています。

つくづく何事も日常こそ何より幸せと思われ知らされました。本年が皆様にとって良い年でありましてように。お互い助け合い、支え合ってゆきましょう。

ありがとうございます
ふるさと応援寄付金
中村敏彦様 他十一名
善意の寄付金
上野一正様 佃 幸人様
香典返し
中村昭廣様

編集後記